

講義科目名称： 公衆衛生学 I

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
灘 博敏			
月4			
添付ファイル			

科目の概要	人口静態・動態、健康状態、受療状況等の衛生の主要指標、感染症・生活習慣病の現状と対策、母子・学校・老人等の保健対策及び医療保険制度などについて講義する。
授業の内容	<p>第1回 公衆衛生の概要 公衆衛生の定義、公衆衛生の歴史</p> <p>第2回 国際保健 国際交流、国際協力</p> <p>第3回 公衆衛生の現状 公衆衛生行政、公衆衛生行政の制度、保健所の機能</p> <p>第4回 衛生統計1 人口統計：人口静態統計、人口動態</p> <p>第5回 衛生統計2 疾病統計、国民生活基礎調査、生命表、その他統計</p> <p>第6回 疫学 疫学の定義、指標</p> <p>第7回 疾病の予防1 感染症の予防：感染症と病原体、感染症の起こる三条件、感染症の分類</p> <p>第8回 疾病の予防2 感染症の予防対策、経口感染症の予防の実際、消毒方法</p> <p>第9回 疾病の予防3 生活習慣病の予防：病気の予防、生活習慣病、健康日本21</p> <p>第10回 疾病の予防4 循環器病、がん、その他の生活習慣病、難病</p> <p>第11回 保健福祉医療制度 医療制度、医療保険制度、介護保険制度</p> <p>第12回 母子保健 出生、乳児死亡、周産期死亡、母子保健対策</p> <p>第13回 学校保健 学校保健管理、学校環境管理、学校保健教育、学校給食の目標</p> <p>第14回 老人保健・精神保健 老人保健福祉、精神保健の課題、精神保健福祉</p> <p>第15回 まとめ 公衆衛生学 I のまとめ</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	公衆衛生学は人間の集団の健康を対象とした学問であり、広範囲にわたっている。公衆衛生学 I では、保健、医療、社会保障の分野を中心に最新の動向、対策及び課題を学び、健康に関わる重要な基礎知識を修得する。
授業の方法	講義形式
成績評価の方法	定期試験（90%）、授業参加態度（10%）により評価する。
教科書・テキスト	製菓衛生師全書 出版元：日本菓子教育センター 配布プリント
参考書	国民衛生の動向2017/2018 出版元：厚生労働統計協会
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	毎回講義の初めに前回講義の内容に関する小テストを行うので、復習をしておくこと。
履修上の留意事項	授業中の私語、携帯電話の操作は厳禁とする。
オフィスアワー	授業終了後に教室で。

担当教員への連絡方法	教務課に申し出ること。
その他	